



## ～ PROFILE ～

氏名：田中菜実（たなか まみ）

出身：北海道沙流郡日高町

前職：雑誌の編集

趣味：カフェめぐり、手芸

## 地域おこし協力隊になったきっかけは？

地域おこし協力隊の存在は元々知っていました。名古屋で働いていたのですが、仕事を辞めて北海道に戻ろうと思いました。戻って何の仕事をするかと考えた時に、地域おこし協力隊の存在を思い出しました。そこから地域おこし協力隊にはどのような仕事があるか、求人を探しました。情報発信の業務であれば前職を活かせると思っていたので探していたところ、音更町が見つかったので、音更町の地域おこし協力隊を選びました。

## 日々の活動内容は？

自分が興味のあるもので、音更町にあるカフェや新しくできたお店、飲食店、季節に合った記事（紅葉や桜が咲きましたという内容）があります。なかでも私が音更町にきて一番魅力を感じたのは、スポットや食べ物はもちろんなんですが「音更町に住む人」が素敵だなと感じました。人の魅力に着目したいなと思って、音更町で活躍する人の取材をはじめ、力を入れているところです。

たとえば、カフェの取材に行った時にカフェのオーナーさんに『なぜカフェをオープンしたのか』というところから「どうして音更町だったのか」など、どういう考え方を持っている人なのかを記事にしています。



📍十勝に来て初めて見ることができた小麦ロール。とても感動しました！

## 今後の展望・目標は？

来年の4月から音更町でかき氷、クレープをメインとしたカフェをオープンする予定なので、地域おこし協力隊の経験を生かして頑張っていきたいなと思ってます。カフェはもちろん十勝の素材を使用する予定です！

## 音更町の魅力を教えてください！

音更町に来る前は畑の風景が広がっている街だと思っていましたが、想像していたより街が都会的で驚きました。また、住み始めてから感じたことは、とにかく住みやすいところですね。食べ物もおいしいし、農村部へ行けば雄大な自然の景色が広がっていますし、疲れた時はすぐ近くに温泉がありますし…ストレスなく住める街かなと思っています。名古屋にいたころは仕事に一生懸命だったので、なかなか自分の時間を過ごすことができませんでした。音更町に来てからは、のんびり過ごすことができ、人生が楽しくなってきたので、来てよかったなと思います。人の温かさもそうだし、空気感も自分に合っていると感じています。

### ～音更町について～

町名の音更は、アイヌ語のオトプケ（毛髪が生ずる）から転訛（てんか）したもので、音更川と然別川の支流がたくさん流れているところからついたと言われています。

世界でも珍しい「モール（植物性）温泉」として広く知られ、平成16年11月に北海道遺産に指定されました。町内には、家畜改良センター十勝牧場、十勝が丘展望台、直径18メートルの花時計「ハナック」、北海道立「十勝エコロジーパーク」などのほか、「道の駅ガーデンスパ十勝川温泉」と令和4年4月に移転オープンした「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」があり、四季を通して観光客が訪れています。（音更町HPより）



▲十勝川温泉旅館組合  
マスコットキャラクター  
モ～るちゃん